※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1005 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書法芸術ⅡA | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字の書や、漢字仮名交じりの書、篆刻（印）等、様々な体験を通して、自分らしさを表現する力の育成をめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます

## ２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）漢字の成立と変遷を学び、古典作品独特の用筆と文字の特徴を知り、効果的に表現するための技能を身につけるようにする。
（２）作品制作を進めるための構想や工夫点を、他者に伝えられるように取り組むことができるようにする。
（３）授業で考えたこと、感じたことを具体的に記入できるよう、主体的に取り組むことができるようにする。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。<br>書の伝統に基づき、効果的に表現する作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 | 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 | 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 書写と書道の違い | 道具による表現の違いを理解し、表現形式に応じた全体の構成と、書芸術を構成する様々な要素を理解する。 | a:書芸術を構成するさまざまな要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。<br>b:道具による表現の違いに応じた全体の構成について構想し工夫している。<br>c:主体的に、書写と書道の違いを学ぶ創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>c:主体的に、書写と書道の違いを学ぶ創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | プリント<br>作品 | プリント<br>作品 | プリント |
| | 漢字の書 | 漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作） | a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。<br>b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。<br>c:主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>c:主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑） | プリント<br>作品 | プリント<br>作品 | プリント |
| 2 | 漢字仮名交じりの書 | 感興や意図に応じた、漢字と仮名（平仮名・片仮名）の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）。 | a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。<br>b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。<br>c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑） | プリント<br>作品 | プリント<br>作品 | プリント |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 篆刻 | 篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じた個性的な表現について構想し、工夫しながら表現する。 | a:篆刻を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。（知）<br>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。（鑑・知）<br>a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。（技）<br>b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。<br>b:作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑）<br>c:主体的に篆刻の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>c:主体的に篆刻や刻字の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑） | プリント<br>作品 | プリント<br>作品 | プリント |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度